

令和8年度予算見積調書

課室名: 国際課
担当名: 多文化共生担当
内線: 2717

(単位: 千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
P41	DXを活用した災害時の外国人支援体制の整備	一般会計	総務費	県民費	国際交流費	多文化共生推進事業費
事業期間	令和7年度～ 令和9年度	根拠 法令	なし	針路 分野施策	01 災害・危機に強い埼玉の構築 0101 危機管理・防災体制の再構築	SDGsゴール SDGsターゲット 5, 9, 10, 11 5-4, 9-1, 10-2, 11

1 事業概要 外国人住民の増加、多国籍化、定住化が進む中、日本特有の災害や避難行動、防災等の情報にアクセスしにくい外国人の逃げ遅れ・混乱等を防ぐため、災害時の外国人支援体制を整備する。 ア LINEを活用した多言語防災情報の提供 2,060千円 イ オンライン等を活用した災害時の外国人支援 訓練・研修 1,856千円	5 事業説明 (1) 事業内容 ア LINEを活用した多言語防災情報の提供 2,060千円 災害情報の翻訳作業や提供方法をDX化することで、相談対応に注力できる体制を整える。(TX) イ オンライン等を活用した災害時の外国人支援訓練・研修 1,856千円 災害時の外国人支援が滞りなく実施できるよう市町村や関係団体と連携し、訓練・研修を実施する。 (2) 事業計画 ア 県公式LINEで多言語による防災情報の配信 やさしい日本語を含む15言語 イ 災害時の外国人支援に係る研修及び図上・実践訓練の実施 (3) 事業効果 災害時の外国人支援体制が整備され、外国人住民が災害時に必要な情報を得て安全に避難するなど、適切な対応が取れる。 【活動指標(アウトプット)】 ・県公式LINEの防災情報を多言語で発信(やさしい日本語を含む15言語) ・訓練・研修の開催回数(年2回以上) 【成果指標(アウトカム)】 ・県公式LINE登録外国人数(令和8年度 15,000人) ・訓練・研修参加数 63自治体 (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 埼玉県国際交流協会、市町村、NPO団体等との連携
2 事業主体負担区分 (県10/10)	
3 地方財政措置の状況 なし	
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1.0人=9,500千円	

予算額		財源内訳					一般財源	前年との対比
決定額	3,916	国庫支出金	諸 収 入				2,416	△24,084
前年額	28,000	12,000	4,000				12,000	

事業内訳書

事業名	DXを活用した災害時の外国人支援体制の整備		
単位事業名	LINEを活用した多言語防災情報の提供	予算額	2,060千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	2,060	△23,940	
合計	2,060	△23,940	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	2,060	△23,940	LINE多言語化に係るシステム運用等業務委託
合計	2,060	△23,940	

単位事業名	オンライン等を活用した災害時の外国人支援訓練・研修	予算額	1,856千円
-------	---------------------------	-----	---------

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
諸収入・ 雑入	1,500	△500	自治体国際化協会助成金
一般財源	356	356	
合計	1,856	△144	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	70	0	訓練・研修協力者謝金
旅費	30	0	事前打ち合わせ及び当日立ち合い
委託料	1,756	△144	災害時の外国人支援に係る研修・訓練実施業務委託
合計	1,856	△144	